

### 岡本 優 議員（一括質問一括答弁方式） 社会教育センターの移転予定について

―旧南庁舎を有効活用して4月11日オープン予定―

**問** 昭和50年の開設以来、社会教育活動の拠点として多くの社会教育関係団体の方々に利用された社会教育センターを旧南庁舎に移転する理由はなにか。  
**答** 既存施設の有効利用あるいは維持管理費の縮減などを検討する中で、旧南庁舎の議場をホールとして有効活用し、学習発表会や講演会の会場として活用できたり、エレベーター設備を利用することで、高齢者や足が不自由な方、あるいは大きな荷物を運ばれる方の利便性を考え旧南庁舎に移転した。

**問** 社会教育センターを利用できるのは社会教育関係団体と

**答** 社会教育センターで登録されている団体を対象とした利用者説明会を開催し、施設の概要、部屋の種類と規模、利用時間と休館日、料金などを説明した。また、今後のスケジュールについては、3月中までに内部の改修工事、外部の補修工事を実施し、施設備品の搬入と引越しを行い、平成24年4月11日にオープンする予定である。

### 星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式） 生ごみの現状を踏まえた政策的な誘導が必要

―再生利用の推進に向けた事業者への情報提供に努める―

**問** 生ごみ減量の方針と目標、現状認識はどうなっているか。  
**答** 一般廃棄物処理基本計画において、市民、事業者、行政の連携、協働による循環型都市を目指すことを方針として、平成19年度比で、25年度に家庭ごみ25%、総ごみ資源物10%の削減、リサイクル率33%を目標にしている。また、現状は、リサイクル率の伸びは緩やかだが、ごみ排出量の削減は着実に進んでいると認識している。

**問** 生ごみ減量への取り組みと事業者生ごみへの対応は。  
**答** 市民だよりによる啓発、小学校4年生で使う副読本の作成、再生利用が円滑に推進できるように情報提供に努めている。

**問** 生ごみの現状や規制を踏まえた政策的誘導が必要ではないか。  
**答** 食品リサイクルは事業者や農業者にとって十分なメリットがあると考えている。今後、事業者に対して廃棄物の自己処理責任を認識していただき、直接的な支援ではなく、ごみ減量や再生利用が円滑に推進できるように情報提供に努めている。

### 鈴木 浩二 議員（一問一答方式） 計画的な工業用地確保と企業誘致活動の充実を

―方向性を失うことなく、スピード感を持って支援・誘導―

**問** 第2次産業の就業人口を増やす方策として、第7次総合計画にどう反映されているのか。  
**答** 計画的な市街地の拡大を図り、物流の利便性が高い地域に工業系新市街地を創出することで、工業系新市街地の進捗状況はどうか。  
**答** 今年度は依佐美地区の工業系新市街地拡大、野田町二ツ池地区について関係権利者と合意形成を図りながら取り組んでいる。

であるが、早期着工に向けスピード感を持って取り組んでいく。  
**問** 工業用地の分譲価格はどのように決まるか。  
**答** 用地買収及び造成に係る費用、不動産鑑定評価から算出した価格、さらには実勢価格をかんがみながら決定していく。

**問** 3年前に完了した刈谷駅前再開発では、刈谷市としての特別な補助はあったのか。  
**答** 再開発補助として事業費の一部補助、建物に係る固定資産税を5年間に限り1/2に減額する措置を実施している。

**成田 正和 議員（一問一答方式）  
災害対策の充実について**

―避難勧告などの情報伝達的手段として同報型防災行政無線を検討―

**問** 市内にある排水機場は自動運転ができるようになっていくのか。  
**答** 市が管理している排水機場は、全て排水ポンプの自動化がされているが、県管理の排水機場は自動化されていないため引き続き県に要望していく。

**問** 市民への避難勧告などの情報の伝達手段をどのように考えているのか。  
**答** 災害発生時に、すぐに応急、復旧工事など対応することができると考えるが、長期化する経済不況の中、市内業者への入札件数を増やすために、どのような対策を行っているのか。  
**答** 平成22年から一般競争入札の入札参加資格の地域要件を改正し、市内に本店のある業者のみが入札できる設計金額の上限を1億円から1億5,000万円まで引き上げた。また、本年4月からは2億円に引き上げ、市内業者の受注機会の拡大を図っている。

**山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）  
不育症への補助制度を設け、子どもを生める環境づくりを**

―国・県の動向を踏まえながら検討をしていく―

**問** 流産や死産を繰り返す妊婦に不育症の診断がされるよ

うになった。不育症は母体に染色体異常などの原因がある場合、治療すれば80%の確率で妊娠が継続できることが近年明らかになった。しかし、専門医が限られていて、保険適用外の治療を有することなどで、経済的負担が重くのしかかっている。

**問** 市として、不育症治療への認識をどのように持っているのか。  
**答** 厚労省の提言によると、不育症は様々な要因があり、病体ごとの治療方針が医学的に定まっていけないことから、医師にとつて難しい疾患で研究段階との認識が示されている。  
**問** 6回の妊娠で4回流産をくり返し、専門医の治療を受けて今2人の子どもに恵まれた方から、治療には幾度の検査と精神的苦痛が伴うなどの悲痛な声が寄せられた。不育症治療の補助制度をつくり命の育みを支援すべきと考えるがどうか。  
**答** 不育症の検査や治療が、経済的に負担が大きいということと認識をしているが、不育症の検査、治療方法は未だその有効性、安全性が確立されていないため、治療費への補助については、国・県の動向を踏まえながら検討をしていく。



泉田町にある発杭川排水機場

## 編集後記

◆新年が開幕し1カ月が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。激動の平成23年を振り返ってみますと、度重なる災害と超円高など、日本の経済を揺るがす大きな事柄が起きた年でありました。今なおその事態が明らかになっていない福島原発の事故による影響など多くの課題が持ち越されています。

刈谷市では、防災・減災対策、災害時の緊急対応、災害後の復興推進などを議会で取り上げ、進捗状況を確認するとともに多くの提言をしてまいりました。今後も問題解決へ向けて全力で取り組んでまいります。

◆今、巷ではiPhone、iPadなどの通信機器が爆発的に流行しています。何処にいてもリアルタイムに世界中の情報が入手できる大変便利



利なものではありません。その反面、自己管理能力や自己責任といった問題が大きく注目されています。違法ダウンロードや個人情報情報の流出など使

◆昨年「絆」という漢字に象徴されるように、人と人と地域の相互の思いやりを考える機会となりました。「情けは人の為ならず」ということわざがあります。人と人との関わり合いの中にこそ困難を乗り越えようとする強い決意が生まれてくるのではないのでしょうか。前を向いて常に新しいことに挑戦し学ぶことが生涯青春であり続けることだとおもいます。本年は辰年です。昇り竜のごとく上へ上へと希望を持って明らかに一年を過ごしていきたいと思

（議会広報委員会）